

平成 29 年 8 月 定例教育委員会々議録

1 日 時 平成 29 年 8 月 21 日 (月) 午後 1 時 30 分～

2 定例教育委員会

開催場所 会議室 102、103

3 出席委員の氏名

教 育 長	仲 野 孝	教育長職務代理者	齋 藤 和 夫
委 員	黒 川 優 子	委 員	山 崎 克 弥
委 員	中 野 信 男	委 員	秦 久美子

4 説明のため出席した職員

教 育 次 長	山 田 公 一	主 幹	長 谷 川 智
学 校 教 育 課 長	堀 克 彦	子 育 て 支 援 課 長	白 井 健 次
社 会 教 育 課 長	宮 路 一 規	指 導 主 事	関 矢 洋

5 本委員会書記

学校教育課 太 田 和 行 他 2 名

6 傍聴人

なし

7 会議に付議した事件

諸報告

- (1) 行事報告及び行事予定
- (2) 教育長報告
- (3) 寄附報告

専決処分の報告について

報告第 10 号 共催・後援の教育長専決報告について

協議題

協議第 8 号 新規共催・後援申請について

その他

(1)「平成 29 年度燕市教職員研修講座」高等学校訪問の日程について

8 閉 会

会議録

別紙のとおり

1. 開 会 宣 言 午後1時30分～

2. 会議録署名委員の指名 山 崎 克 弥 委 員

3. 諸報告

(1) 行事報告及び行事予定について

〈各課長が報告〉

○委員（中野 信男）

燕市、南魚沼市プラットフォーム会議の趣旨を教えて欲しい。

○学校教育課長（堀 克彦）

南魚沼市と災害協定を締結した際に、市長同士で話が進み、さらに自治体の発展のために職員間の交流が始まった。この会議は両市が交互に開催地をしており、今年は燕市で開催した。年1回担当部署の職員が議題を持ちより情報交換を行っている。

○委員（中野 信男）

災害に関する意見交換が主となっているのか。

○学校教育課長（堀 克彦）

当初は災害に関する話を切り口として始めていたが、そこから話が広がって現在の形式となった。教育委員会では、子ども・若者への相談支援や ICT を活用した教育についてなどお互いに相手の市の情報を参考にさせてもらっている。

(2) 教育長報告

〈仲野教育長が以下のとおり報告〉

1 はじめに

○ 今年の梅雨では、大雨により全国各地で災害が発生した。本県は、今月上旬に梅雨明けしたものの、今年の夏は不安定な天候が続いており、また、これからの時期は、台風による被害に注意が必要となる。

○ 夏季休業は間もなく終わるが、小学校では現在6年生の陸上大会に向けた練習が始まるとともに、8月29日(火)には2学期の始業式を迎える。また、中学校では8月23日(水)から始まる学校がある。夏季休業明けの児童生徒の不安定な状態への見守りについては、あらためて校長会で指導したい。

○ 先月末から姉妹都市ダンディ村への生徒派遣、広島市での平和記念式典への生徒派遣、長善館学習塾における南魚沼市での宿泊体験などが行われたが、無

事に終了した。なお、Jack & Betty 親善大使として海外派遣した児童生徒は、8月26日(土)に帰国する予定であり、今後、各報告会への参加をお願いする。

2 児童生徒を取り巻く状況

(1) 県内における児童虐待

- 県の児童家庭課は、平成28年度に児童虐待を受けて対応した件数が速報値で1,845件となり、平成27年度に比べ、件数にして407件、率にして28%増え、3年連続で過去最多となったことを公表した。
- 虐待の種類としては、心理的虐待が全体の54%、身体的虐待は25%、子育てを放棄するネグレクトが21%を占めている。
- 県は件数増加に対して、虐待を見逃さない意識の高まりもあり、これまで表に出てこなかった事例が掘り起こされているとの見解を示した。
- 今後とも学校が些細なことでも見逃さずに、社会福祉課や児童相談所と連携するよう指導するなど、学校への支援に努めていきたい。

(2) いじめによる高校生を補導

- 今年4月から県警は少年課に「いじめ対策係」を設置しており、これまでに被害を受けた生徒から警察署への相談をきっかけに高校生が補導された。
- これまでの容疑は、名誉毀損、暴行と恐喝の2件である。特に名誉毀損行為については、SNS上で名誉を傷つけるような悪口を書き込んだ疑いとのことである。
- こうした事案に対して、これまでは学校の教員による指導を行ってきたが、今後は、こうしたことが県警に相談されれば、学校内の出来事でも悪質なものは犯罪となることもあり得ることから、各学校では、あらたな指導と注意喚起が必要になる。

3 8月行事予定より

(1) 第2回吉田西太田保育園の民営化に伴う三者協議会(8/1)

- 同園の民営化については、運営事業者として「社会福祉法人吉田福祉会」を選定し、平成31年4月の開園に向けて、保護者・運営事業者・市教育委員会との三者による協議会を設置した。
- 7月5日(水)に第1回目の三者協議会を行い、その内容については、毎月「みんえいかつうしん」を発行し、保護者や地域の皆さまにお知らせするとともに、意見箱などを活用し保護者などの意見をお聞きすることとした。

(2) 特別の教科道徳の研修会(8/7)

- 小学校では、来年度からこれまでの「道徳」が「特別の教科 道徳」として実施され、中学校では平成31年度からの実施となる。
- 道徳が教科化されることは、学習指導要領改訂の大きな目玉の1つであり、今から準備を進める必要があると考え、この研修会を計画した。
- 当日は、県教育庁義務教育課の鈴木副参事指導主事を講師に招き、これま

での「道徳」とは何が変わり、授業はどう進めていけばよいのか、また評価はどうすればよいのかなどについて、小中学校の教員が研修した。

(3) 第7回燕市・南魚沼市プラットホーム会議(8/10)

- この会議における分科会は、防災・産業・教育などで行われ、教育部会では、南魚沼市教育委員会関係者と意見交換が行われた。
- 本市からの協議内容は「学校事務職員に対する支援や研修体制」と「子ども・若者への相談支援」、また、南魚沼市からは、「放課後子ども総合プランの実施」と「ICTを活用した教育、無線LANの整備計画」についてであり、他の自治体の状況を伺うことができ有意義な会議であった。
- 各自治体によって地域性に違いはあるが、概ね同じような課題を抱えており、その課題の解決にはこうした会議での意見交換が参考になる。

(4) 言葉の力育成研修会(8/17)

- 今年度2回目の標記研修会については、昨年につき、筑波大学附属小学校の二瓶弘行教諭を講師に招き、本市の他、近隣の市町村の小中学校からおおよそ80人の教員が参加した。
- 読書によって読む力、書く力、想像力、考える力が育つと言われているが、本研修では、言葉の力をつける系統的な指導法を教示していただき、教員の授業力を高めることにつながったものと感じている。

(5) ミズノトラッククラブによるビクトリークリニック(8/22)

- 8月19日(土)から24日(木)まで、三条・燕総合グラウンドにおいて、ミズノ(株)の陸上チームが合宿することに伴い、練習の合間をぬって、明日の午後から小中学生に対するクリニックが開催される。
- 合宿参加者は、飯塚翔太選手や松下祐樹選手など7人。日本のトップアスリートから指導していただける絶好の機会であり、来月行われる小学生の陸上大会や中学生の新人大会に向けて成果が出ることを期待したい。

(3) 寄附報告

2件の寄附報告について
〈宮路社会教育課長が報告〉

4. 専決処分の報告について

報告第10号 共催・後援の教育長専決報告について
3件の共催・後援について
〈宮路社会教育課長が説明〉

5. 協議題

協議第 8 号 新規共催・後援申請について

3 件の後援について

〈No. 1、2 宮路社会教育課長が説明〉

〈No. 3 堀学校教育課長が説明〉

審議の結果、全員異議なく承認された。

6. その他

(1) 「平成 29 年度燕市教職員研修講座」高等学校訪問の日程について

〈関矢指導主事が説明〉

○委員（齋藤 和夫）

高等学校訪問について、今後ぜひ吉田高等学校を訪問させて欲しい。

7. 閉 会 午後 2 時 05 分

教 育 長 仲野 孝

会議録署名委員 山崎 克弥

会議録調整者 竹田 亮子
